

「ふ」だんの「く」らしを「し」あわせに。

福祉くろべ



あせない。

2020
07
July

特集 「継承と革新 ～互いの強みを活かして次世代へとつなぐ～」

スマイルワーカー 本村実佳さんのお話

下立地区くろベネット活動

黒部善意銀行のご報告

【編集・発行】 社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会 令和2年7月1日発行

この広報誌は一部共同募金の助成金により発行されています。

新型コロナウイルス感染症の県内での発生状況で、イベントの中止や休館となることがございますので、ご了承ください。自宅での検温、来館時にはマスクの着用をお願いいたします。

うなづき 黒部市宇奈月老人福祉センター
TEL.(0765)65-1820

くろべ 黒部市福祉センター
TEL.(0765)54-1082

2020
7 | 介護予防通所事業
生き生き倶楽部

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	1	2 レクリエーション	3 レクリエーション	4
5	6 自力整体	7 健康体操B	8	9 健康体操B	10 レクセタ作り	11
12	13 レクセタ作り	14 レクセタ作り	15	16 健康体操A	17 介護予防教室	18
19	20 レクリエーション	21 レクリエーション	22 レクリエーション	23 海の日	24 スポーツの日	25
26	27 レクリエーション	28 健康講話	29	30 レクリエーション	31 レクリエーション	8/1
2	3	4	5	6	7	8

時間/10:00~11:00 対象/65歳以上の方 ■は休館日
参加費/150円(入館料のみ)

- 健康体操A 石田 みどり先生
- 健康体操B 村田 あゆみ先生
- 介護予防教室 黒部市接骨師会
- 自力整体 稲田 清美先生
- 健康講話 池田リハビリテーション病院

2020
7 | 介護予防のための
元気はつらつ体操教室

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	1	2 健康体操	3 自力整体	4
5	6	7 健康体操	8 自力整体	9 体操	10	11
12	13	14 体操	15 健康体操	16 自力整体	17 脳トレ	18
19	20	21 自力整体	22 体操	23 海の日	24 スポーツの日	25
26	27	28 アロマ・ヨガ	29 アロマ・ヨガ	30 アロマ・ヨガ	31 アロマ・ヨガ	8/1
2	3	4 音楽療法	5 音楽療法	6 音楽療法	7 体操	8

時間/10:00~11:00 対象/65歳以上の方 ■は休館日
参加費/300円(入館料のみ)

- 音楽療法 畠山 悦子先生
- 健康体操 樋口 瞬先生
- アロマ・ヨガ 村田あゆみ先生
- 自力整体 稲田 清美先生
- 脳トレ くろべ脳トレクラブ
- 体操 小森亜希子先生

読んで効く

健康 かくれ脱水に注意しましょう
普段の生活意識を変えることで、かくれ脱水を予防できます

- ①体調の変化に気づく
疲れやすい、食欲がない等、些細な体調の変化に気を付けましょう。
- ②規則正しい生活を送る
1日3回規則正しい食事をして、6時間以上の睡眠をとるようにしましょう。
- ③こまめに水分補給をする
1日8回を目安に「喉が渇く前」に水分補給することを意識しましょう。

黒部市宇奈月老人福祉センター 徳光
お問い合わせは TEL:(0765)65-1820



今月の表紙

晴れ切った夏の午後、芙弓(ふゆ)さん、美晴(みはる)さん、穂華(ほのか)さんが海に入って思い切り遊んでいます。暑さを吹き飛ばすくらい元気な3人の夏の思い出ができました。

福祉・ボランティアに関することは

社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会

http://www.kurobesw.com/



本所 黒部市福祉センター内

〒938-0022 黒部市金屋464-1 TEL.(0765)54-1082(代表) FAX.(0765)52-2797
TEL.(0765)57-1089(ケアセンター・ホームヘルプセンター) Eメール kurobesw@ma.mrr.jp

宇奈月支所・黒部市東部地域包括支援センター 黒部市宇奈月老人福祉センター内
〒938-0862 黒部市宇奈月町浦山2111 TEL.(0765)65-1165 FAX.(0765)65-9533
Eメール tobu-houkatsu@kurobesw.jp

私たちは5GOALS for 黒部を推進しています



ちよこっと情報 [黒部市の人口] 40,588人 [65歳以上の人口] 12,862人 高齢化率 31.4% R2.5.31 現在

特集

継承と革新

互いの強みを活かして次世代へつなぐ

今年2月に村椿地区で3つの

農家が出資して農業法人「R&V

のざわ農場株式会社」が設立され

ました。チームとして新たな農業

ビジネスを始めた20代の若き社

長夫妻と社長を支えるベテラン

の先輩方から世代を超えて一緒に

取り組む思いをお聞きました。

祖父の思いを受け継ぐ

元々専業農家だった祖父の思いを受け継いで、能澤末菜（のざわみな）さん（27歳）は20歳から農業を始めました。「祖父が病気でもうすぐ亡くなるっていう時に初めて家族に農業の話をしたんです。すごいお金をかけて倉庫を建て替えたり田んぼを整備したり、いろいろなことをやって丹精込めてお米を作っていたという話を聞いた時に、それまで全く手伝わなかったがなかったけれど、漬けてはいけないなと思って後を継ぐことを決めました」と話します。末菜さんの思いに共感した夫の喬之（たかゆき）さん（27歳）は、結婚を機に会社を辞め2017年4月から農業を始めました。「結婚を決めた時には妻はすでに家業を継いでいました。大きな規模でやっていて辞めるのももったいないなと思います、僕もやろうと思います」と話します。喬之さんはゼロからのスタートでしたが、末菜さんや近所の農家の方々に教わりながら米作りを始めました。

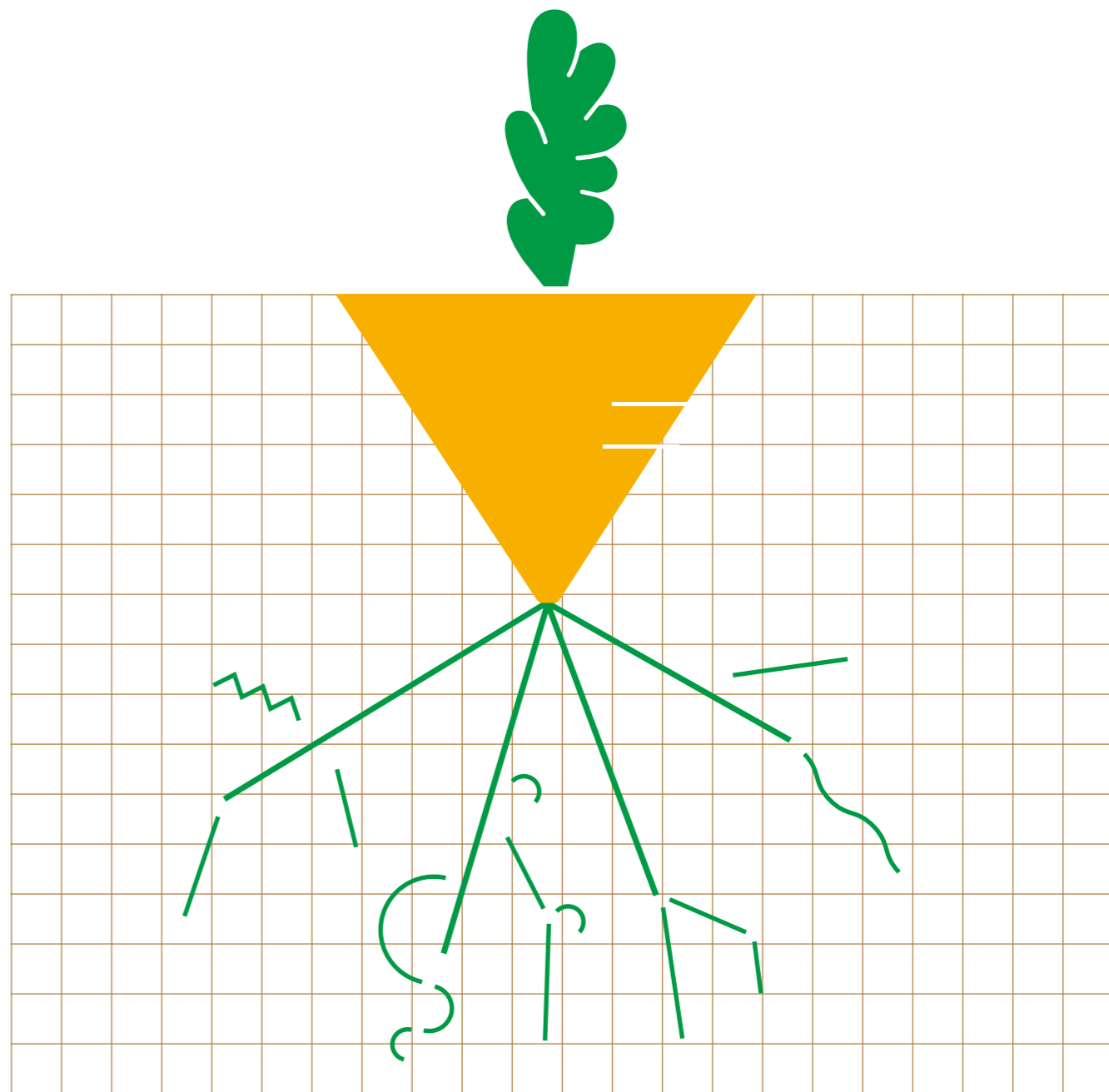
知恵とアイデアを合わせる

農業法人ができるまでは、それぞれが個人経営をしていましたが、高齢化による担い手不足と収益を上げるために、能澤さん夫妻と2つの農家が手を取り、「R&Vのざわ農場株

式会社」を設立しました。喬之さんは社長に就任し、末菜さん、得能初雄（とくのうはつお）さん（77歳）、松澤昭久（まつざわあきひさ）さん（63歳）、太田真矢（おおたしんや）さん（47歳）が取締役、松澤美幸（まつざわみさき）さん（30歳）が従業員となり新しい体制でスタートしました。「3つの農家が合わり、作業効率も良いのでとてもやりやすいですね。二人でやっている時よりもいろいろな人たちと話をしながら仕事ができるので、今まで以上に楽しいです」と喬之さんは話します。

松澤昭久さんは、末菜さんが農業を始めた頃からサポートしており、「60代でも若手と言われ、なかなか後継者がいない中で20代の子たちが農業にかかわるっていうのは良いことだと思います。二人はまだ経験が浅いので、先輩たちから長年の経験や知恵を聞いて力を付けていってほしいですね。一緒に米作りをしてもらえて、ありがたい気持ちでいっぱいです」と話します。

得能さんは、「若い人が農業をやってくれて嬉しいです。私はできることをやれば良いと思っっているので、自分たちの持っている知恵と知識を伝えながら若い人と役割分担して仕事をしています。新しい技術や取り組みについては若い人が考えて進めてくれるので、自分は次の世代のサポートをしていく役割だと思っています」と話します。能澤さんたちは先輩方から教わりながら無人運転田植え機やドク



▲大豆を育てるため田んぼを耕す末菜さん

Q. お仕事のやりがいと仕事に対する想いを教えてください。

地域包括支援センターに配属され2年目となりました。地域に出て、地域の方と顔を合わせてお話を聴き、ご相談を受けたり、教えていただいたり「自分の住む地域と関わっている!!」と実感できることが増え、とてもうれしく思います。

関わりの中で、自分はこの方に寄り添えているのだろうか、受け入れてもらえているのだろうか、「本人が望む幸せ」って何だろうと考えることが多いです。まだ学びの途中ではありますが、関わらせていただいている方や地域の方々が、毎日を笑顔で暮らせるようお手伝いをしていきたいと思っています。

スマイル ワーカー



本村実佳さん
(もとむら みか)



黒部市東部地域包括支援センター
介護支援専門員 / 社会福祉士



得意なこと、趣味

- ・自然療法、食育について学ぶこと
- ・山を眺めること、登ること

活動レポート | 5月16日(土)下立地区内全域

思いやりの心でお互いに安心

下立地区ではくろベネット活動として、一人暮らし高齢者宅への訪問活動を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響で行事の中止が続く中、地区社会福祉協議会役員や民生委員の皆さんが地域の方を気にかけて実施しました。「元気でしたか? 困ったことがあれば電話してくださいね」、「不審な電話や訪問には気を付けてくださいね」と声をかけて、手紙と品物を渡し、役員やボランティアの方々は、高齢者の皆さんが元気でられる様子を見て安心していました。

くろベネット活動では市内16地区が地域で気になる世帯や支援が必要だと思ふ世帯の見守り活動を様々な形で行っています。



様子を伺う民生委員の山口さんと防犯ボランティアの長谷川さん



▲ 左から松澤昭久さん、能澤未菜さん、能澤喬之さん、得能初雄さん

ンなど新しい取り組みも実験的に取り入れています。そしてみんなで話し合い、全員が納得したうえで作業を進めているので喬之さんも未菜さんも安心して仕事ができるそうです。

魅力ある職業に

今後について喬之さんは「農業分野で高齢化が大きな問題になっていますが、今は自動運転やドローンなど機械も進化してきています。それによって農業に興味を持った若い人が仲間に入ってくれて、一緒に黒部の農業を盛り上げていけたらいいなと思います。そして、美味しい農産物を作り続けることが僕の夢ですね」と話します。

未菜さんは「祖父が築いてきた農業をずっと守っていったらいいなと思います。田んぼって辞めるのは簡単で1年やらなければすぐに草むらになるんですけど、それを元に戻す時って5年も10年もかかるんです。できるだけそういう放棄田を作らないようにして、祖父のやっていたことが無駄にならないようにしていきたいです」と話します。

また、しっかりと休暇が取れるような勤務体系にしたり、女性も働きやすい環境にするなどして農業を魅力ある職業としてアピールしていきたいとも考えています。

つなぎ育てる

のざわ農場の皆さんがチームとして互いに尊重しながら、スムーズに仕事ができているのは得能さんや松澤さんが能澤さんたちの新しい取り組みやアイデアを受け入れるなどして、若い世代に歩み寄りながら技術や知恵を継承しているからだと思います。そのような部分は、地域での活動においても世代を超えてチームとしてうまくまとまって活動していく時に活かすことができます。様々な世代がそれぞれの強みを活かして役割を分担し、先輩たちが培ってきた技術や知恵を若い世代に伝えて育てる気持ちとお互いに感謝し楽しく活動できる関係性を築いていくことで、地域での活動における世代間の距離を縮め、ギャップを埋めていくことができるのではないのでしょうか。

農業法人 R&Vのざわ農場株式会社
黒部市六天622番地

黒部市村椿地区の3つの農家が出資して今年2月10日に設立しました。
社名のR&Vは「ライス」と「ベジタブル」の頭文字からとり、現在は6名で86ヘクタールに米、大豆、ニンジン、トマトなどの野菜と蕎麦を栽培しています。

黒部市福祉センターのお知らせ

休憩時間/9:30~16:00 入浴/10:30~15:30
※休憩時間、入浴時間が短縮となっております。

新型コロナウイルス感染症の県内での発生状況で、イベントの中止や休館となることがございますので、ご了承ください。

7月

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、7月は演芸、ステージ発表をいたしません。

休館日 毎週月曜日(6日・13日・20日・27日)
祝日の翌日のため24日・25日は休館日です

8月

8月の演芸、ステージは未定となっております。

休館日 毎週月曜日(3日・10日・17日・24日・31日)
お盆休み(13日・14日・15日)

催し物と休館日のご案内

バス運行

今月のクラブ

定期バスについて

7月より定期バス(火~土曜日、2コース)の運行を再開します。ただし、**帰りのバスは12時30分**の出発となります。(停留所は今まで通りです。)

ポールウォーキング

金曜日(3日・10日)

囲碁・将棋クラブ、元気カラオケクラブにつきましては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、7月は開催を中止とさせていただきます。



誕生日のお祝いに福祉センターの入浴券はいかがですか?
11枚綴り・・・3,000円

地域福祉のために

黒部市社会福祉法人連合会に寄付をいただきました
ありがとうございました

公益社団法人黒部青年会議所 様

5月7日~5月31日まで「スマイルマスクプロジェクト」と称し、市内4か所にマスクの回収BOXを設置し、寄付を募る活動が行われました。そこで集まった2,012枚のマスクを、黒部市社会福祉法人連合会(市内11か所の社会福祉法人)に寄贈いただきました。



お知らせ

第15回黒部市社会福祉大会中止のご案内

令和2年7月18日(土)に開催を予定しておりました第15回黒部市社会福祉大会について、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止とさせていただきます。

今月の相談日

民生委員児童委員と心配ごと相談

- 黒部市福祉センター(金屋464-1) 行政相談員が同席
7月14日(火) 13:30~15:30 / 予約不要
- 黒部市立中央公民館(宇奈月町浦山2100-2)
7月9日(木) 13:30~15:30 / 予約不要

弁護士と法律相談

- 黒部市福祉センター(金屋464-1)
7月21日(火) 13:30~15:30 / 予約受付7月1日より
相談内容問わず、年度につき
1人3回までのご利用とさせていただきます。

富山県東部生活自立支援センター 生活自立支援相談

- 黒部市福祉センター(金屋464-1)
7月13日(月) 10:00~11:30 / 予約受付7月1日より

新型コロナウイルス感染症の県内での発生状況で、相談員の変更や中止となることがございますので、ご了承ください。

黒部善意銀行

令和元年度活動状況のご報告

黒部善意銀行では、預託(寄付)という形でみなさまの善意をお預かりし、社会福祉事業に活用させていただいております。皆様のあたたかい善意に心から感謝いたします。

預託(寄付) 213,702円

内訳 一般預託(15件) 213,702円
物品預託(1件) 文房具一式

貸出(配分) 145,000円

内訳 生活保護世帯・準要保護世帯
修学旅行参加生徒への支援金として 145,000円
貸出対象者 生活保護世帯、準要保護世帯

預託者ご芳名 ※寄付当時の団体名で記載しています。

市内(個人)

下立 白川 義男

浦山 (故)大藪 利夫

他市

富山県移動商業組合

企業・団体

黒部市母子寡婦福祉協議会

くろべ陶芸友の会

北陸労働金庫黒部支店
地域常任推進委員会

黒部市立鷹施中学校

『愛のともしび』募金箱

宇奈月国際ホテル 風車

延楽 ワークマン黒部店

ホテル黒部 黒部市宇奈月老人福祉センター

ホテル溪仙 黒部市福祉センター

感謝状の贈呈

明るい社会づくりに寄与する善行を讃えて、次の方々に感謝状が贈られました。
富山県善意銀行より(令和2年2月24日)

各種団体推薦の部

- ・本村智貴様 ・山本修斉様 ・能登心夏様 ・生地小学校なかよし2年生チーム様
- ・笠原楽翔様 ・大坪彩花様 ・大勢待雄耶様 ・生地小学校生地しばんばチーム様
- ・能登啓晶様 ・瀧若菜様 ・北陸労働金庫黒部支店地域常任推進委員会様

県善意銀行推薦の部

- ・稲澤 廣明様 ・渡瀬 義明様 ・大高建設(株)様

敬称略・順不同

[事務所] 黒部市福祉センター

[寄付受付] 黒部市宇奈月老人福祉センター / 黒部市役所 / 黒部市宇奈月市民サービスセンター / 『愛のともしび』募金箱